

2010～2011年度
国際ロータリー第2680地区
淡路グループ

Intercity Meeting

IMテーマ

— ロータリーの奉仕を考える —



地域を育み、大陸をつなぐ

【ホストクラブ】

洲本ロータリークラブ

事務局 洲本市本町4丁目5番10号

三井住友銀行洲本支店3階

TEL 0799-22-8915

FAX 0799-26-0101

日時 2010年11月14日(日)

13時30分

場所 ホテルニューアワジ

「ロータリーの奉仕を考える」に思う

国際ロータリー第2680地区

淡路グループ ガバナー補佐 石濱 義民

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある；

第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；

第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；

第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；

第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

本年度のRI会長レイ・クリンギンスミス氏は、奉仕の精神により「地域を育み、大陸をつなぐ」と地域社会から世界中までが住みやすく働きやすくなるので、ロータリーは比類の無い優れた組織であるとされています。

私は25年前、「お前は非社交的だからこそロータリークラブに入れ。例会は休んだらあかんぞ。そのうちに分かるようになる」とだけ言われて、入会しました。世間での偉い人に囲まれての昼食会は少々窮屈でした。そんなある日、津名ロータリークラブの瀬川大先輩からシェルドンの奉仕哲学を詳しく講義される会合がありました。よく理解できなかったのですが「これはすごいぞ、何かある。ただの食事会ではないぞ！」と思いました。

それからは、「超我の奉仕」や「個人奉仕」、「団体奉仕」など難しい言葉をよく耳にすることに気がつきました。

その後、深川純一パストガバナーの「ロータリー運動の核心」（ロータリーの友誌）を拝読して、胸のつかえが取れました。“ロータリーは倫理運動であり、クラブは寄付団体でも、慈善団体でも、ボランティアの団体でもない。倫理を提唱していくことによって、世のため人のために働いていこう、という団体である。人を育てること、道徳を守る人間をつくることによって、世のため人のためにロータリーは活動する。”と記されていたように思います。ロータリーは奉仕するだけでなく、奉仕する人を育てる団体といえると思います。

奉仕の精神を学び育てるには例会に出席しなければなりません。米山梅吉先生は「例会は人生の道場である」と言われたそうです。加藤隆久パストガバナー（私が会長の年度のガバナー）は「ふれあい 学び ロータリーのこころ育み 行動を！」と言われました。常に「四つのテスト」を意識したいものです。

以前から職業奉仕をロータリーの象徴的なものとされてきました。「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる。」奉仕するのは奉仕する喜び、無償の愛のためであり、職業奉仕であれば天職（Vocation）を全うする喜びのためである。報いを期待してではない。結果として報われるかもしれないが目的ではない。

近年、ロータリー運動は低調になり、会員の減少が続く、クラブが消えることも無いとは限らないといわれています。このために、メディアでの取り扱いや世間での認知度を気にし、広報活動も考えるようになってきました。

一方ロータリー内では、例会出席率60%ルールを50%にし、遂にはEクラブが承認されました。これは最も大切な例会出席を軽んずるばかりか、否定してしまったといえはいすぎだろうか。人生の道場がなくなり、ふれあい学ぶところがなくなると、ロータリーの本質がこれからどうなるのか、大変気になります。

このような厳しい状況下で、ロータリーの奉仕をあなたはどうか考えますか。

プログラム

第1部 式典及びフォーラム（鳳凰の間）

司会 SAA 坂本 昌文

13:00	登録受付		
13:30	開会点鐘	ガバナー補佐	石濱 義民
	国歌斉唱		
	ロータリーソング「奉仕の理想」	ソングリーダー	坂田 幸男
	開会の言葉	IM実行委員長	井口 昌亮
	来賓紹介	ホストクラブ会長	秦 紳一郎
	来賓祝辞	ガバナー	柴田 整宏
	参加クラブ紹介	ホストクラブ幹事	岡田 雅博
	歓迎の言葉	ホストクラブ会長	秦 紳一郎
	ガバナー補佐挨拶	ガバナー補佐	石濱 義民

(休憩)

14:00	フォーラム	コーディネーター	長井 康洋
	「ロータリーの奉仕を考える」	パネリスト	6 RC代表者

1. 「ロータリーは倫理運動である」
ロータリーの魅力を考える。
パネリスト 阿部 昌弘（あわじ中央RC）
" 岨下 博史（津名RC）
2. 「例会は人生の道場である」
クラブの原点である例会づくりを考える。
パネリスト 興津 博捷（淡路三原RC）
" 奥 總昭（洲本RC）
3. 「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」
職業奉仕の本質を考える。
パネリスト 鹿田 淑子（南淡路RC）
" 廣岡 卓樹（淡路北RC）

(休憩)

15:45	特別講演		
	「ロータリーの奉仕を考える」	三木 明	地区研修リーダー
	次期ガバナー補佐紹介	ガバナー補佐	石濱 義民
	次期ガバナー補佐挨拶		
	閉会の言葉	会長エレクト副会長	奥 總昭
	閉会点鐘	ガバナー補佐	石濱 義民

(移動)

第2部 交流会（シーサイドホール）

17:45	交流会	ソプラノ	岡田 恭子
		ピアノ伴奏	板倉喜美代
		司会 SAA	寺山 直次
		挨拶 ガバナー補佐	石濱 義民
		乾杯 ガバナーノミニー	石丸鐵太郎
19:00	閉会	IM実行副委員長	柴田 拓二

◆ 講演講師紹介 ◆

三木 明様 プロフィール

所属クラブ	姫路ロータリークラブ
職業分類	歯科
生年月日	1950年1月1日
勤務先住所	〒670-0012 姫路市本町137
学歴	1975年 大阪歯科大学 卒業
職歴	1980年 三木歯科診療所 開設 1991年 博士号（歯学）受領
ロータリー歴	1981年5月12日 姫路ロータリークラブ入会 1995～96 幹事 1999～00 会長（第50代）
	1991～92 地区国際奉仕委員会・委員長 1994～95 地区青少年奉仕委員会・委員長 1995.4～ 震災復興ボランティア実行委員会・委員長 1996.6 1996～97 地区職業奉仕委員会・委員長 2002～03 地区代表幹事 2005～06 西播第一グループ・ガバナー補佐 2007～08 地区ガバナー 2008～09 地区増強・拡大委員会アドバイザー 2009～10 地区社会奉仕委員会アドバイザー 2010～11 RI第3ゾーンアシスタントロータリー コーディネーター、地区研修リーダー

R財団メジャードナー、ベネファクター、米山功労者

2010-2011年度 淡路グループ
 洲本ロータリークラブ
 IM実行委員会 構成表

ガバナー補佐	石濱 義民	ガバナー補佐随員	森崎 文雄
IM実行委員長	井口 昌亮	洲本RC会長	秦 紳一郎
IM副実行委員長	柴田 拓二	洲本RC会長エレクト	奥 總昭
		洲本RC幹事	岡田 雅博

国際ロータリー 第2680地区

淡路グループ

委員会	委員長	副委員長	委員
フォーラム 講演	長井 康洋	坂本 昌文	中村 尚義
			廣木 辰夫
			太田 勝之
			柴田 正樹
運営	西岡 能視	高山 秀則	
S.A.A.	西岡 能視	豊田 幹男	高山 秀則
会場	高鍋 直人	横井 哲行	柴田 拓二
交通	不動 正章	戸田 公三	竈本 和秀
救護	行政 愛雄	横山 光宏	倉本 賢
ソング	岡田 雅博	坂田 幸男	
総務	木戸 清隆	明石 和男	
登録	木戸 清隆	明石 和男	川井 秀一
受付	藤岡 照三	藤原 宗	三原 勇
広報	江本 幸仁	長手 康祐	
会計	武田 康平	瀧川 好美	森崎 文雄
記録	寺内 洋二	薦 稔夫	
接待	番所 利行	奥 總昭	計馬 忠
交流会	鵜飼 徹	横井 哲行	坪内 隆佳
			丸添 博
			佐野 康彦
			寺山 直次
			藤井 啓誠

南淡路ロータリークラブ

淡路三原ロータリークラブ

津名ロータリークラブ

淡路北ロータリークラブ

あわじ中央ロータリークラブ

洲本ロータリークラブ